

中東欧通貨週報

2024年3月27日

みずほ銀行欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島將行
masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

Private and confidential

MIZUHO

中東欧通貨 過去1週間の動向と展望

< 過去1週間の動向と展望・・・ポーランド国立銀行のグラピンツキ総裁の罷免に向けた調査が正式に開始 >

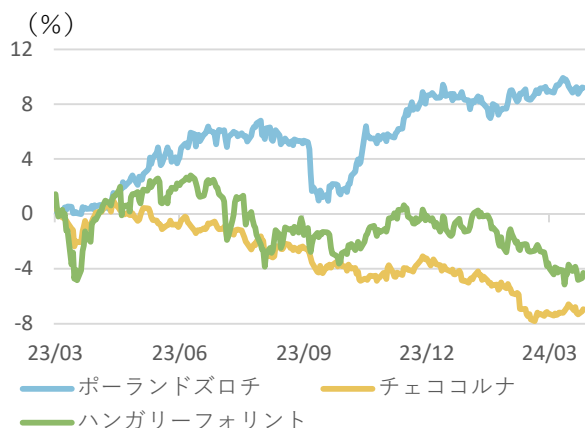
過去1週間の中東欧通貨は、総じて小動き。チェコとハンガリーの中銀は追加利下げを実施したが、声明文や記者会見が、利下げに伴う通貨安のリスクに配慮する内容であったこともあり、会合後にそれぞれの通貨はやや持ち直している。

ポーランドでは、**グラピンツキ中銀総裁に対する調査**が3月26日に開始された。同氏の罷免を求める理由を見ると、2023年10月の選挙直前の大幅な利下げ（前与党の「法と正義」を支援するためと見られている）など、批判されるべきものもあるが、一方で、ポーランド国立銀行によるコロナ期間中の国債買い入れなども入っており、他の中銀もコロナ期間中に国債買い入れはやっていたことを考えれば、罷免理由としてはややアンフェアに感じられるものも含まれる。「中銀総裁の罷免」という市場にショックを与えかねないテーマではあるが、調査開始に伴う市場の反応は限定的となった。議員委員会による調査には6～12か月かかる可能性があるとされるほか、前政権の支持者の多い憲法裁判所などが阻止を試みる可能性などが指摘されており、現時点で影響を見通しにくいことも一因となっていよう。

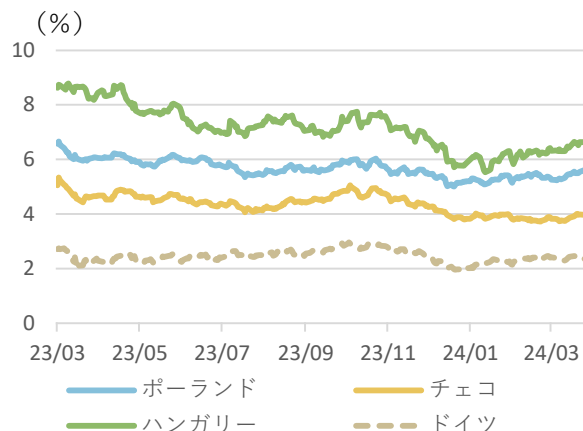
チェコ国立銀行は3月20日の会合で市場予想通り政策金利を50bp引き下げ5.75%とした。75bpの利下げを支持する委員が2月の1名から今回は2名に増えるというハト派サプライズがあったものの、声明文は総じてタカ派姿勢が強い内容。さらに、ミヒル総裁が記者会見で改めてコロナ安に対する警戒姿勢を示したこともあり、会合後にややコルナは反発している。

ハンガリー国立銀行は3月26日の会合で政策金利を9.00%から8.25%に引き下げた。NBHは前回2月会合では従来の75bpから100bpに利下げ幅を拡大したが、2月下旬から3月にかけてフォリントは対ユーロで最大約2.6%下落したことを受け、3月会合では利下げ幅を75bpに戻した。声明文やビラグ副総裁の記者会見は追加利下げを示唆しつつも、フォリントの安定にも配慮した内容。

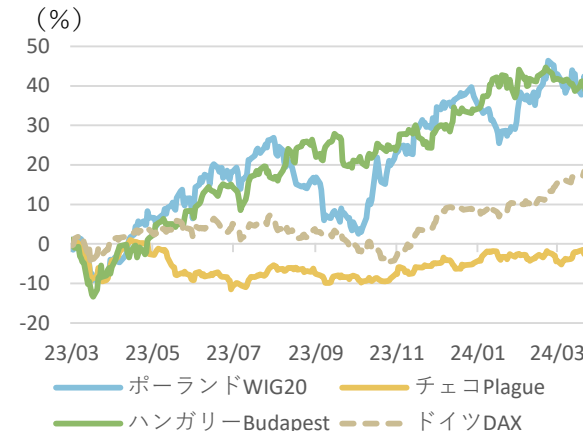
対ユーロ 年間騰落率（日足、ロンドン終値ベース）



10年国債利回り



株価指数 ユーロ換算後年間騰落率



ポーランド国立銀行のグラピンツキ総裁に対する調査が開始

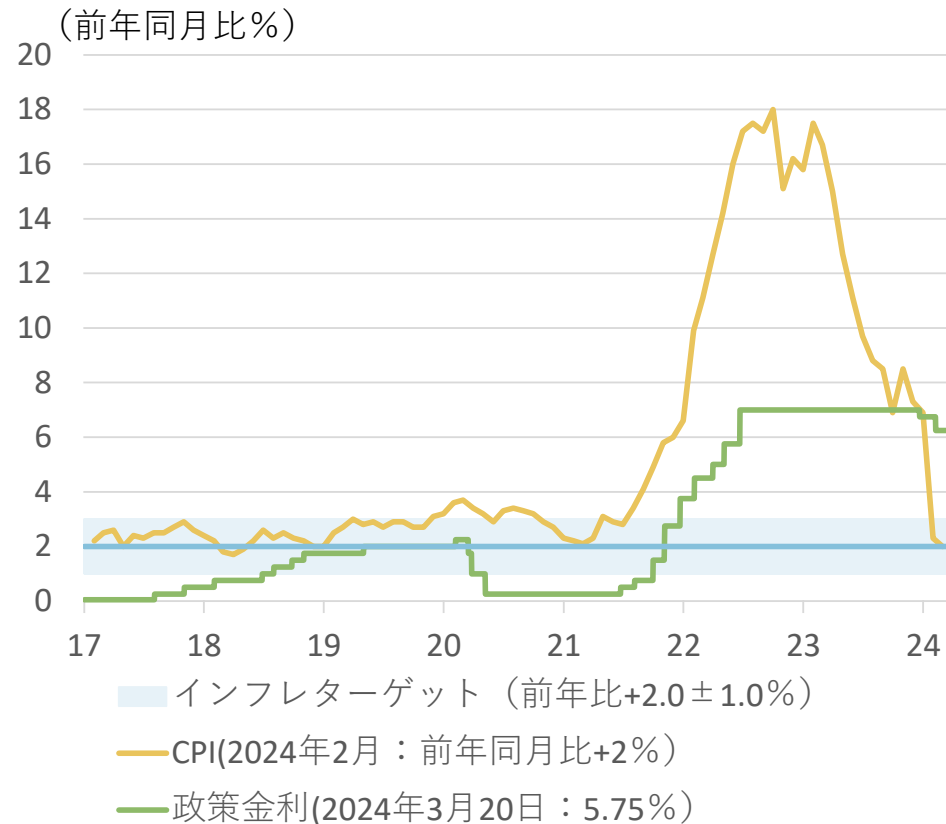
グラピンツキ総裁に対する8件の告発

- 1) ポーランド国債等の直接買い入れを行い、ポーランド国立銀行が総額1,440億ズロチ以上の財政赤字に対して間接的に融資した。
- 2) ポイント1に記載された活動は、金融政策審議会の正当な承認なしに実施された。
- 3) 2020年12月及び2022年3月に、NBP理事会の許可なく為替介入を行い、しかも、そのうちの少なくとも一部がポーランドズロチの切り下げを目的としたものであった。
- 4) 2021年にインフレが進行する中で資産を購入し、2023年には10月の選挙直前に大幅な利下げを実施したことで、ポーランドズロチの下落をもたらした。
- 5) 金融政策理事会の一部のメンバーに対する不当な扱い。議事録を含む文書へのアクセスの拒否、一部のメンバーの発言の違法な削除、議事録の最終版を採択前に理事会メンバーに提示しなかったりした。
- 6) 財務省が2024年の予算法案を作成する際に、2023年のポーランド国立銀行の利益から60億ズロチの予算への支払い予測に関する書面による情報を不当に提供した。
- 7) 自身の報酬の計算方法の変更。
- 8) グラピンツキ総裁が中央銀行の非政治性の原則に反し、公然と（前与党である）法と正義 (PiS) に対する支持を表明し、（現政権与党である）市民プラットフォーム (PO) に対して公然と批判を行っていた。

3月26日に提出された動議により議員委員会による調査が開始され、調査には6～12か月かかる可能性があるとする。

チェコ国立銀行は3月20日の会合で市場予想通り政策金利を50bp引き下げ5.75%に

チェコ 消費者物価指数（CPI）と政策金利



(出所：チェコ統計局、ブルームバーグ、みずほ)

チェコ国立銀行声明文、ミhil総裁記者会見 ポイント

【声明文】

- 50bpの利下げは5対2の多数決で決定した。2名は75bpの利下げを主張していた（前回2月会合では75bpの利下げを主張したのは1名のみだった）。
- 金融政策決定委員会はリスクは「緩やかに」インフレ方向に傾いていると見ている。

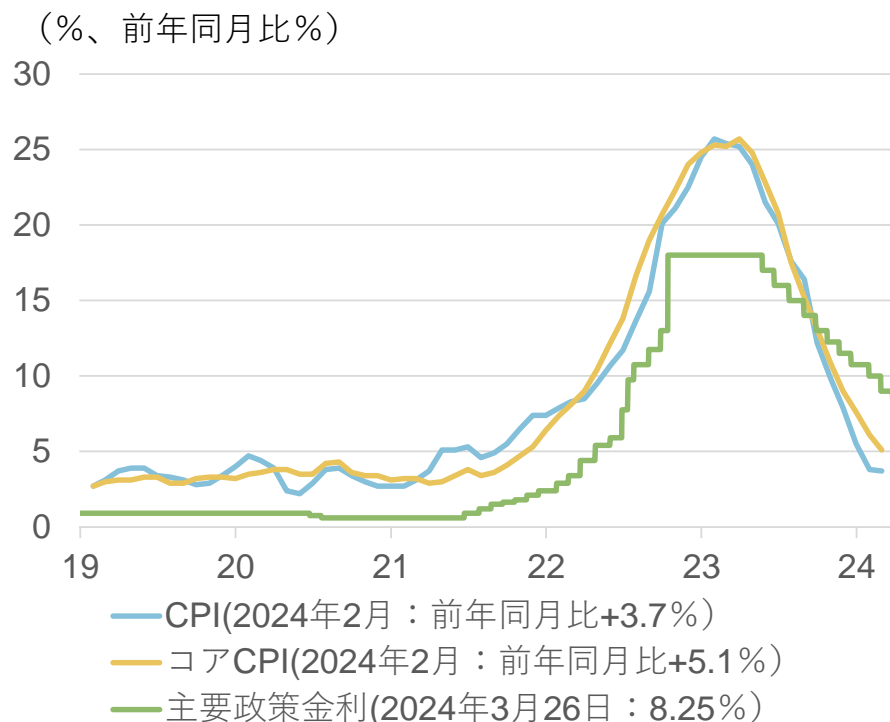
【ミhil総裁会見】

- コロナの為替レートの下落は、インフレリスクとして注視している要素の1つである。
- 必要に応じて、利下げは政策金利が引き締めの水準にある段階で停止する可能性がある。
- 政策金利の利下げペースは市場が織り込んでいるよりも緩やかなものとなる可能性が高い。

75bpの利下げを支持する委員が2月の1名から今回は2名に増えるというハト派サプライズがあったものの、声明文は総じてタカ派姿勢が強い内容。さらに、ミhil総裁が記者会見で改めてコロナ安に対する警戒姿勢を示したこともあり、会合後にややコロナは反発している。

ハンガリー国立銀行は3月26日の会合で政策金利を9.00%から8.25%に引き下げた

ハンガリー 消費者物価指数（CPI）と政策金利



注：主要政策金利は2022年10月14日～2023年9月24日までは1日物預金ファシリティーの入札適用金利を使用。それ以外の期間はベース金利。

(出所：ハンガリー統計局、ブルームバーグ、みずほ)

声明文及びビラグ副総裁の記者会見

【声明文】

- 世界的なデシインフレ、国際的な投資家心理の不安定性、今年半ばに予想される国内インフレの一時的な上昇を巡るリスクにより、今後数か月は金融政策に慎重なアプローチが必要となる。
- 2024年のGDP、インフレ見通しを引き下げ。GDPは従来の+2.5～+3.5%のレンジから+2.0～+3.0%に。インフレ率は従来の+4.0～+5.5%のレンジから+3.5～+5.0%にそれぞれ下方修正した。

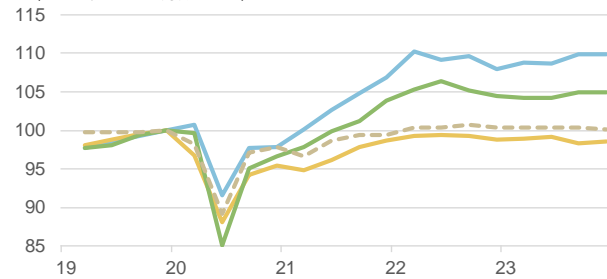
【ビラグ副総裁記者会見】

- NBHの金融政策は「新たな段階」に入っており、金融緩和サイクルのさらなる減速が正当化される。第2四半期には利下げペースが一段と鈍化するだろう。
- NBHが2024年6月末までに政策金利を6.5～7.0%に引き下げるとの市場の予想は「現実的」である。

NBHは前回2月会合では従来の75bpから100bpに利下げ幅を拡大したが、2月下旬から3月にかけてフォリントは対ユーロで最大約2.6%下落したことを受け、3月会合では利下げ幅を75bpに戻した。声明文やビラグ副総裁の記者会見は追加利下げを示唆しつつも、フォリントの安定にも配慮した内容。

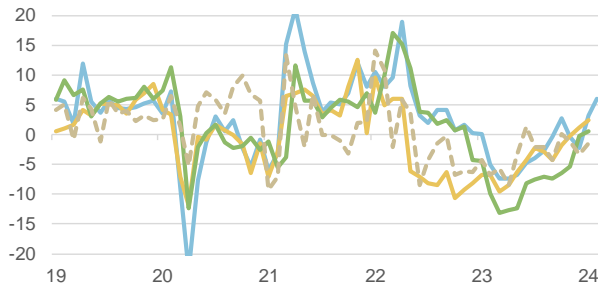
中東欧・ドイツ 主要経済指標

(2019年10-12月期=100) 実質GDP



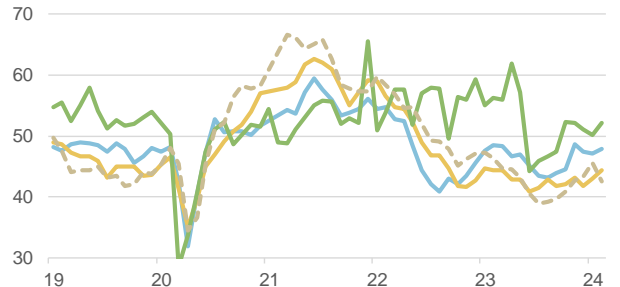
(前年同月比%)

小売売上高



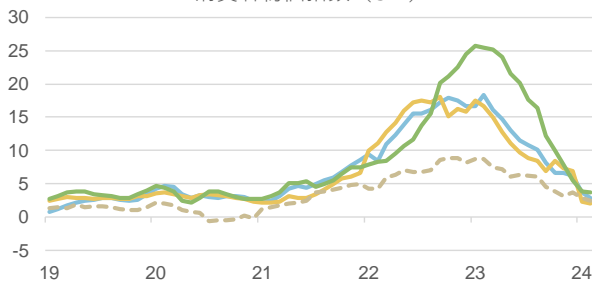
(中立=50)

製造業PMI



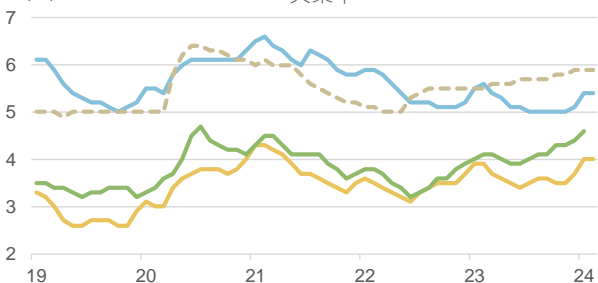
(前年同月比%)

消費者物価指数 (CPI)



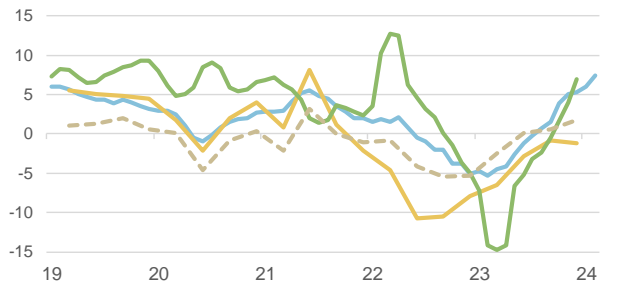
(%)

失業率



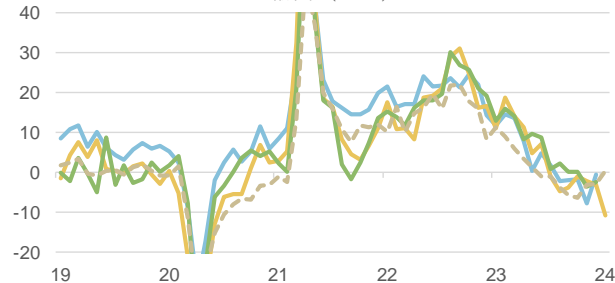
(前年比%)

実質賃金 (* 1)



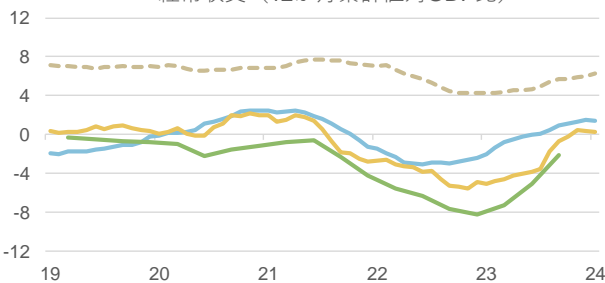
(前年比%)

輸出 (* 2)



(%)

経常収支 (12か月累計値対GDP比)



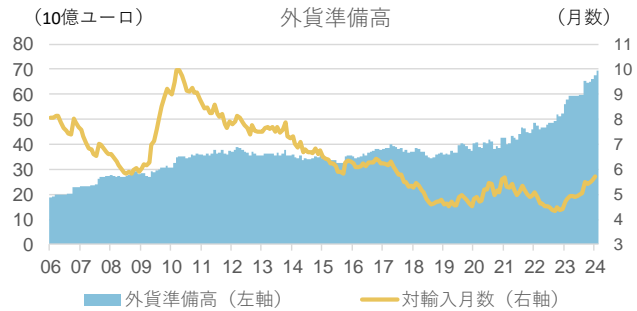
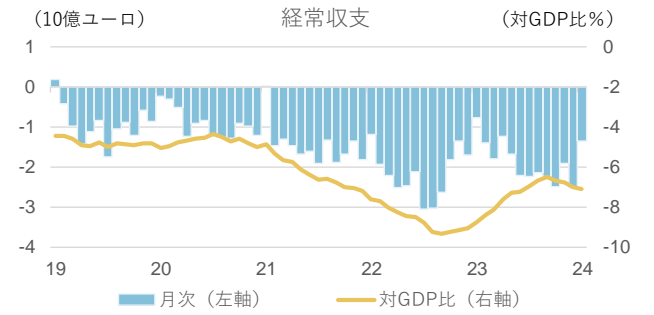
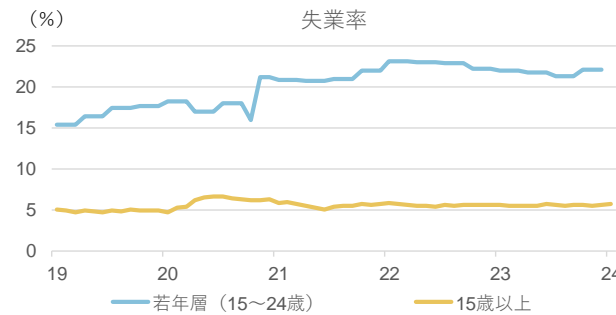
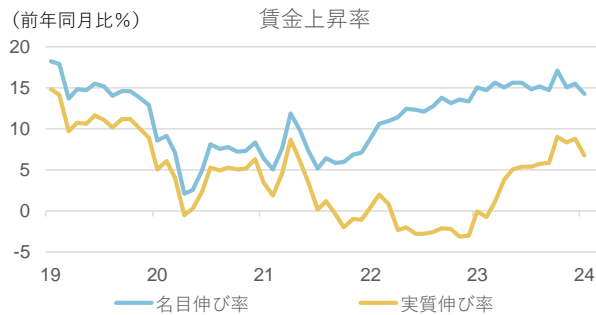
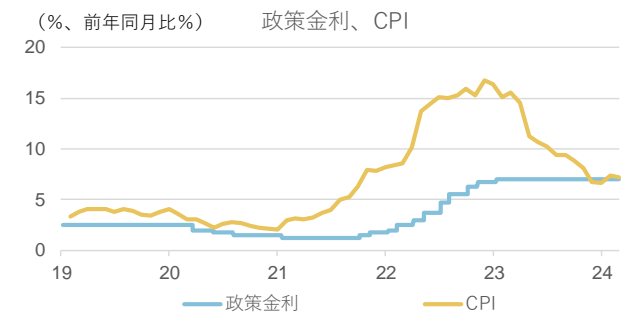
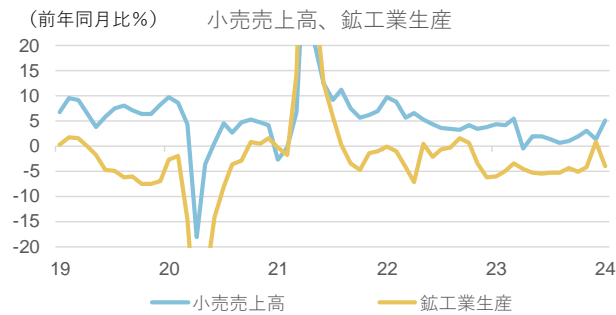
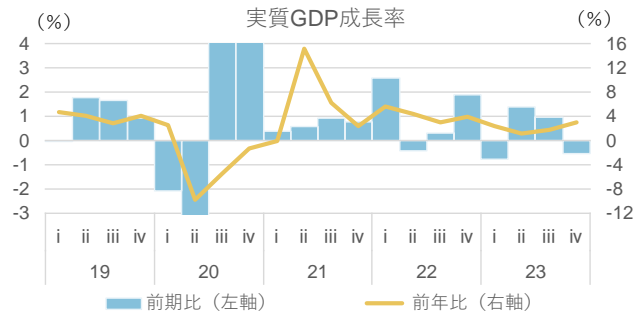
ポーランド
チェコ
ハンガリー
ドイツ

* 1 ポーランド、ハンガリーはCPIで実質化。3か月平均値をとったうえで前年比を計算している。チェコ、ドイツは四半期のデータ。

* 2 金額ベース。各国のデータをユーロ換算したうえで独自に季節調整を実施後、前年比を計算している。

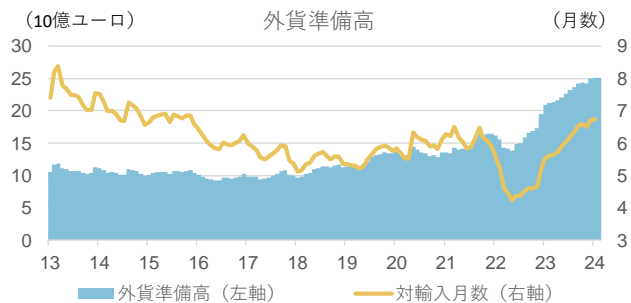
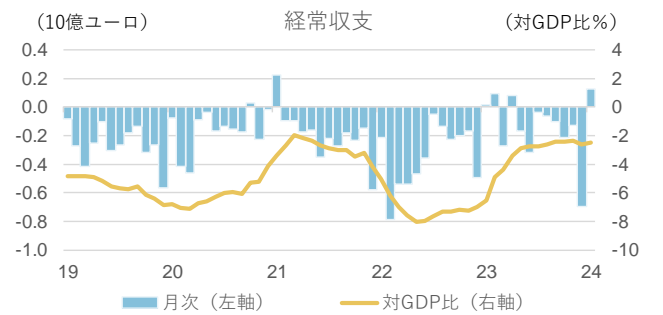
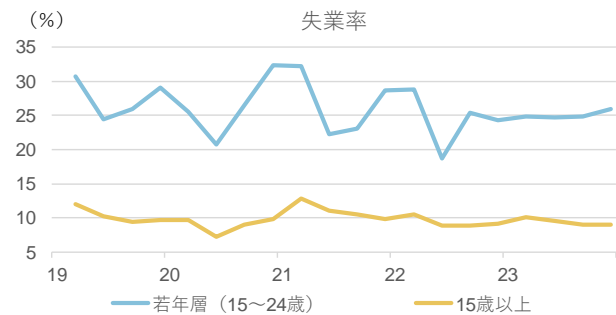
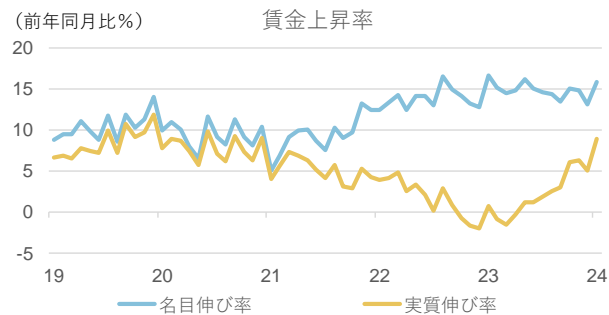
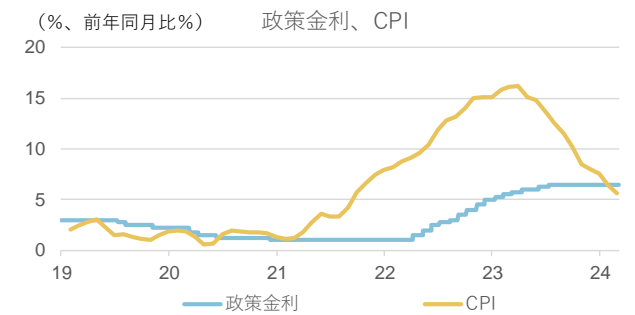
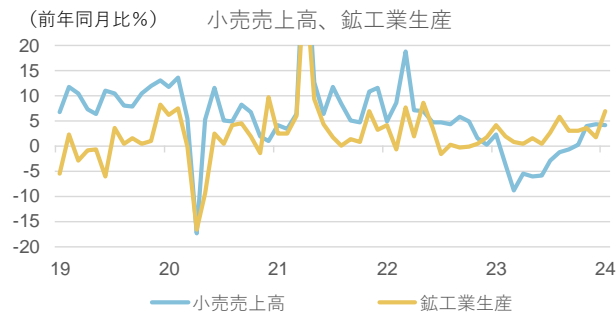
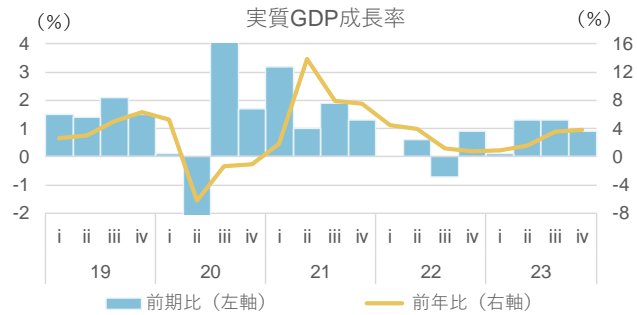
(出所：各国統計、ユーロスタット、ブルームバーグ、みずほ)

ルーマニア



(出所：ルーマニア統計局、ルーマニア国立銀行、ユーロスタット、ブルームバーグ、みずほ)

セルビア



(出所：セルビア統計局、セルビア国立銀行、ユーロスタット、ブルームバーグ、みずほ)

中東欧通貨 中期見通し 各国中銀の金融政策と政治・外交情勢が焦点

中東欧通貨 対ユーロ見通し

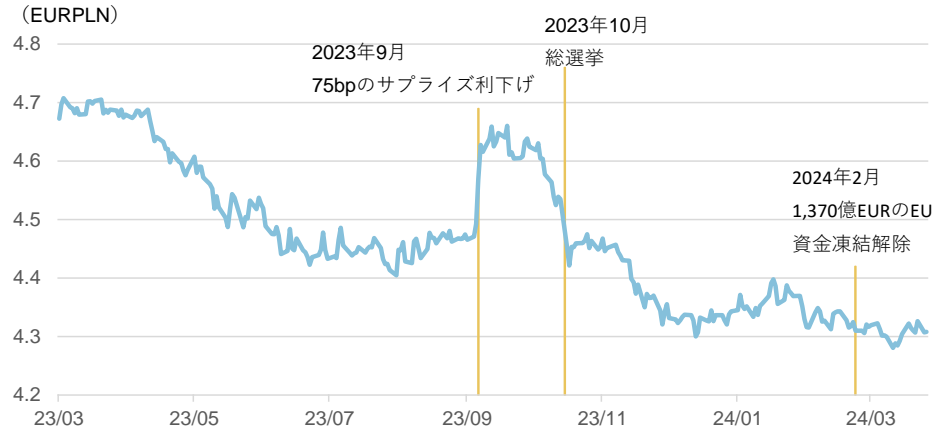
	Spot	2024 Mar	Jun	Sep	Dec	2025 Mar
EUR/PLN	4.32	4.28	4.26	4.24	4.22	4.20
EUR/CZK	25.34	25.2	25.4	25.6	25.8	26.0
EUR/HUF	392	395	400	405	410	415
EUR/RON	4.97	4.97	4.98	4.99	5.00	5.01

注：見通しは2024年2月末時点。

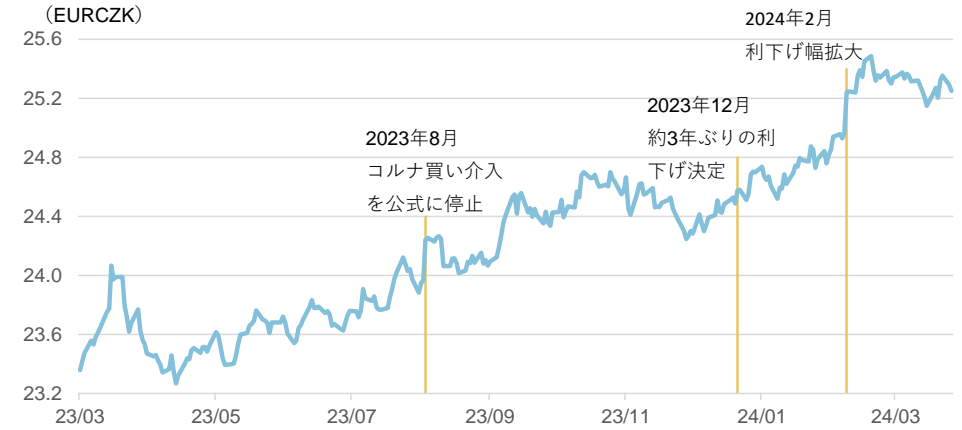
- 2月の中東欧では、チェコとハンガリーの中銀が利下げ幅を拡大したことを受けて両国の通貨が大きく下落。一方、ポーランドズロチはEUとの関係改善が巨額資金流入につながる公算が強まったことが好材料となった。
- ポーランドズロチは2月に他の中東欧通貨が対ユーロで下落するなか、約0.3%上昇した。欧州委員会のフォン・デア・ライエン委員長が2月23日に、1,370億ユーロのEU資金凍結が解除されると発表したことが追い風になった。EU資金凍結解除に伴う巨額資金流入や、ポーランド国立銀行が現在5.75%の政策金利を当面は据え置く姿勢を鮮明にしていることを考慮すれば、ズロチのユーロや他中東欧通貨に対する堅調な展開は今後も継続する公算が大きい。
- チェココルナは2月に対ユーロで2.0%強下落した。チェコ国立銀行（CNB）は2月会合で市場予想の25bpを上回る50bpの利下げを実施した。2月会合後のコルナ安を受けてCNB高官からは輸入物価上昇に伴うインフレ圧力を警戒する発言が出ているものの、景気・物価情勢を考慮すれば、50bpの利下げ幅が今後も継続する公算が大きい。ユーロ圏との金利差縮小観測が引き続きコルナの重石となるだろう。
- ハンガリーフォリントの対ユーロでの下落率も2月には2.3%と大きくなった。ハンガリー国立銀行が2月会合で利下げ幅を従来の75bpから100bpに拡大させた。しかし、景気の低迷が続くなかで、政府から中銀に対しより景気に配慮するよう求める圧力はなおも根強い模様だ。難民問題や性的少数派に対するハンガリーの政策を巡るEUとの対立リスクも燦々。フォリントの不安定化リスクは相対的に高いと見ている。

中東欧各通貨 対ユーロ相場推移

ポーランドズロチ（対ユーロ相場、日足、ロンドン終値）



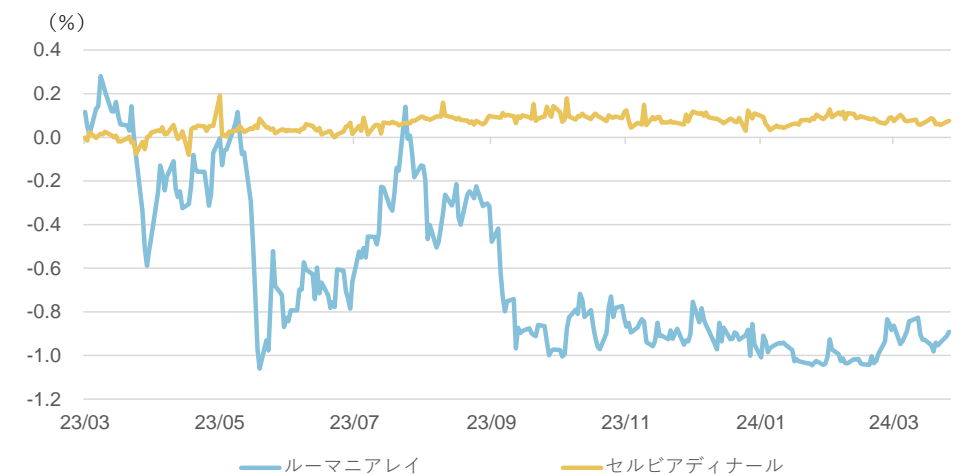
チェココルナ（対ユーロ相場、日足、ロンドン終値）



ハンガリーフォリント（対ユーロ相場、日足、ロンドン終値）



ルーマニアレイ、セルビアディナール 対ユーロ年間騰落率



【参考資料】中東欧・中東・北アフリカ地域 基礎データ

	人口 (100万人) 2023年	名目GDP (億ドル) 2023年	一人あたりGDP (米ドル) 2023年	失業率 (%) 2023年	実質GDP成長率 IMF予測 (%) 今後5年平均	財輸出額 (億ドル) 2022年	政府総債務 (GDP比) 2023年	信用格付け S&P (*)	日系企業進出数 (拠点数) 2022年	ユーロ 導入有無
ポーランド	37.61	8,422	22,393	2.8	3.1	3,582	50	A-	354	×
チェコ	11	3,352	30,475	2.8	2.6	2,449	45	AA-	272	×
ハンガリー	9.67	2,038	21,076	3.9	3.3	1,515	69	BBB-	182	×
スロバキア	5.44	1,330	24,471	6.1	2.7	1,078	57	A+	58	○
スロベニア	2.11	684	32,350	3.6	2.7	697	68	AA-	32	○
ブルガリア	6.41	1,031	16,087	4.6	3.0	482	21	BBB	40	×
クロアチア	3.84	802	20,876	6.3	2.8	254	64	BBB+	31	○
ルーマニア	19.03	3,504	18,413	5.6	3.8	963	51	BBB-	122	×
アルバニア	2.86	230	8,057	11.0	3.4	43	63	BB-	No data	×
ボスニアヘルツェゴビナ	3.46	269	7,778	15.3	3.0	97	29	B+	10	×
北マケドニア	2.06	158	7,672	14.3	3.4	87	52	BB-	1	×
モンテネグロ	0.62	71	11,339	No data	3.2	7	66	B	4	○
セルビア	6.64	750	11,301	9.1	3.9	291	51	BB+	32	×
エストニア	1.35	418	30,998	6.7	2.8	217	22	AA-	105	○
ラトビア	1.87	467	24,929	6.7	3.1	241	41	A+	No data	○
リトアニア	2.79	794	28,482	6.5	2.4	462	36	A+	No data	○
モルドバ	2.5	160	6,411	4.9	4.9	43	35	No data	7	×
ウクライナ	33.19	1,734	5,225	19.4	4.5	444	88	CC	No data	×
トルコ	86.27	11,546	13,384	9.9	3.2	2,542	34	B	275	×
モロッコ	37.02	1,473	3,980	12.0	3.4	420	70	BB+	70	×
チュニジア	12.24	513	4,191	No data	2.4	186	78	NR	26	×
エジプト	105.67	3,984	3,770	7.1	5.0	484	93	B-	52	×
(参考) ドイツ	83.86	44,298	52,824	3.3	1.2	16,489	66	AAA	1,918	○

* 外貨建て長期債務格付け。2024年3月26日時点。日本ではこれらの格付けは無登録格付けとなる。

(出所：IMF、ブルームバーグ、外務省、みずほ)

Disclaimer

This presentation (the "Presentation") is given for general information purposes only and shall be kept strictly confidential by you, and shall only be used by you in connection with *[insert details of the Transaction]*. Until receipt of necessary internal approvals and until a definitive agreement is executed and delivered, there shall be no legal obligations of any kind whatsoever (other than those relating to confidentiality) owed by either party with respect to any of the material contained in the Presentation. All of the information contained in the Presentation is subject to further modification and any and all opinions, forecasts, projections or forward-looking statements contained herein shall not be relied upon as facts nor relied upon as any representation of future results which may materially vary from such opinions, forecasts, projections or forward-looking statements. In particular, no tax advice is given and you should ensure that you each seek your own tax advice.

You should obtain your own independent advice on the financial, legal, accounting, and tax aspects of any proposed solution outlined in this Presentation. You agree that you are not relying and will not rely on any communication (written or oral) of Mizuho Bank, Ltd., Mizuho International plc, Mizuho Bank (USA), or Mizuho Securities USA Inc. or any company whose ultimate holding company is Mizuho Financial Group, Inc. (each a "Mizuho Group Company") as investment advice or as a recommendation to enter into any transaction, and that you are capable of assessing the merits of and understanding (on your own behalf or through independent professional advice), and should you enter into a definitive agreement with a Mizuho Group Company, you will do so because you understand and accept the terms and conditions and risks (including but not limited to economic, competitive, operation, financial, legal, accounting and tax risks) of such transaction. No Mizuho Group Company in any way warrants, represents, or guarantees the financial, accounting, legal or tax results of the transaction described in the Presentation nor does it hold itself out as a legal, tax or accounting advisor to any party.

With respect to derivative transactions, documents presented to you and our discussions with you present one or a few of the possible ways of using derivative products. You should only enter into a derivative transaction and the underlying documentation/contracts (collectively "derivative transaction") after you have obtained a sufficient understanding of the details and consequences (including potential gain and loss consequences) of entering into a derivative transaction. The actual conditions and terms of the derivative transaction that you enter into with a counterparty will be determined by prevailing market conditions at the time that you enter into the derivative transaction with that counterparty. Consequently, you should carefully review the specific terms and conditions of your derivative transaction at that time. You agree that the final decision to enter into a derivative transaction is solely yours and such decision was made solely at your discretion after you had independently evaluated all the risks and benefits associated with the derivative transaction. For derivative transactions where you may have a right or option to make a choice, your ability to exercise your right or option is for a limited time period only. If you choose to terminate or cancel a derivative transaction early, you may be required to pay a derivatives transaction termination payment to the counterparty. In the event that the creditworthiness of your counterparty under the derivative transaction deteriorates, a possibility exists that you may not attain the financial effect that you may have originally intended to achieve at the time that you entered into the derivative transaction, and that you may incur an expense/loss.

When entering into a contingent convertible transaction, you should be aware of and have a sufficient understanding of the Product Intervention (Contingent Convertible Instruments and Mutual Society Shares) Instrument 2015, published in June 2015 by the FCA, which took effect from 1 October 2015 in relation to contingent convertible instruments (the "PI Instrument").

Nothing contained herein is in any way intended by any Mizuho Group Company to offer, solicit and/or market any security, securities-related product or other financial instrument which such Mizuho Group Company is otherwise prohibited by United Kingdom, U.S., Japanese or any other applicable laws, regulations, or guidelines from offering, soliciting, or marketing.

Any tax aspects of this proposed financial solution are non-confidential, and you may disclose any such aspect(s) of the transaction described in the Presentation to any and all persons without limitation. In particular, in the case of the United States, to ensure compliance with Internal Revenue Service Circular 230, prospective investors are hereby notified that: (A) any discussion of U.S. Federal tax issues contained or referred to in the Information book or any document referred to herein is not intended or written to be used, and cannot be used, by prospective investors to avoid penalties that may be imposed on them under the United States Internal Revenue code of 1986, as amended (the "Code"); (B) such discussions are written for use in connection with the promotion or marketing of the transactions or matter addressed herein; and (C) prospective investors should seek advice on their particular circumstances from an independent tax advisor.

A Mizuho Group Company may have acted as underwriter, agent, placement agent, initial purchaser or dealer, lender on instruments discussed in the Presentation, may have provided related derivative instruments, or other related commercial or investment banking services. A Mizuho Group Company or its employees may have short or long positions or act as principal or agent in any securities mentioned herein, or enter into derivative transactions relating thereto or perform financial or advisory services for the issuers of those securities or financial instruments.

The reference throughout this Presentation to "Mizuho" is a generic reference to one or more Mizuho Group Companies. Accordingly, the legal entity which may enter into any transaction or provide any service described in the Presentation may, at the option of one or more Mizuho Group companies and subject to any legal/regulatory requirement, be any one or more Mizuho Group Companies, such as Mizuho Bank, Ltd., Mizuho International plc, Mizuho Bank (USA) acting as agent for Mizuho Bank, Ltd., or Mizuho Securities USA Inc. (which is a registered US broker-dealer and the entity through which Mizuho generally conducts its investment banking, capital markets, and securities business in the United States), provided that such Mizuho Group Company is permitted and, if required, appropriately licensed and/or registered to engage in such activities in accordance with applicable laws, rules and regulations.

As previously notified and explained, and unless and until you notify the relevant Mizuho Group Company to the contrary, any non-public information provided by you to any Mizuho Group Company will be maintained in accordance with its internal policies and will be shared with other Mizuho Group Companies to the extent deemed necessary by such Mizuho Group Company to consummate the transaction or provide the product or service described in the Presentation. The interpretation of the Presentation shall, to the extent appropriate, be governed by English law and subject to the jurisdiction of the English courts.

The email addresses of Mizuho staff indicate by which entity they are employed: (i) [name]@mhcb.co.uk indicates Mizuho Bank, Ltd.; (ii) [name]@us.mizuho-sc.com indicates Mizuho Securities USA; and (iii) [name]@uk.mizuho-sc.com indicates Mizuho International plc; and (iv) [name]@mizuhocbus.com indicates Mizuho Bank (USA).

Mizuho Bank, Ltd., is authorised and regulated by the Financial Services Agency of Japan.

Mizuho Bank, Ltd., London Branch, is authorised by the Prudential Regulation Authority and is subject to regulation by the Financial Conduct Authority and limited regulation by the Prudential Regulation Authority. Details about the extent of our regulation by the Prudential Regulation Authority are available upon request. [Any eligible deposits with Mizuho Bank, Ltd., London Branch are protected up to a total of £85,000 by the Financial Services Compensation Scheme, the UK's deposit protection scheme. This limit is applied to the total of any eligible deposit accounts with Mizuho Bank, Ltd., London Branch. Any total deposits with Mizuho Bank, Ltd., London Branch above the £85,000 limit are not covered. For further information about your rights under the FSCS please visit <http://www.fscs.org.uk>.](#)

Mizuho International plc is authorised by the Prudential Regulation Authority and regulated by the Financial Conduct Authority and the Prudential Regulation Authority.